



## 「阿蘇くまもと空港」の名を全国に!

熊本空港で5月2日、愛称「阿蘇くまもと空港」決定に伴う表示塔の設置記念式典が、県知事をはじめ空港関係者、関係市町長などが参加し盛大に開催されました。空港入り口に高さ8mの表示塔が設置されたほか、高速道路など主要道路の案内表示も「阿蘇くまもと空港」へ書き換えられました。空港の愛称化は、くまもと21の会（金村勇代表）を主とする推進協議会の活動により実現。「高知竜馬空港」に続き、全国でもまだめずらしく、この新しい愛称で熊本県の知名度を上げアピールするのがねらいです。これをうけ、阿蘇温泉観光旅館協同組合でも、早速、空港で観光キャンペーンを行い、観光地阿蘇のイメージアップを図りました。



## 世界の阿蘇から交通事故の絶滅を!

5月11日、内牧の阿蘇体育館で交通安全阿蘇の集いが開催されました。

阿蘇地区交通安全協会が「世界の阿蘇から交通事故の絶滅を」をスローガンに平成19年春の全国交通安全運動の一環として開催したもので、関係者約300人が参加しました。

交通功労者等表彰、腹話術による交通安全講話、熊本県警察音楽隊によるコンサート等が行われた後、熊本YMCA永草

保育園（37人・吉田裕子園長）の園児17人が交通安全を願う絵を参加者に贈呈し、手話を交えながら交通安全を誓いました。



## 県民みんなで緑の大切さを知ろう! 「緑の祭典」で2千人が自然満喫



「くまもと緑の祭典in阿蘇」が、今年、第31回全国育樹祭（11/4）を実施する本市「阿蘇みんなの森」で、5月13日、開催されました（熊本県・阿蘇郡市町村・森林組合などでつくる実行委員会主催）。

祭典ではオープニングアトラクションで一の宮中学校の生徒たちが阿蘇の五岳をバックに迫力ある太鼓演奏を披露。続く潮谷知事による主催者挨拶、来賓挨拶の後、県内から集った緑の少年団を代表して碧水小学校6年の山崎浩太君と渡邊隆仙君が宣誓を行い祭典を盛り上げました。



広場では、木工体験、山菜のてんぷら作り、特産品の販売など多彩な催しが行われ多くの家族づれで賑わいました。